

地域おこし協力隊 活動記 Vol.79



紙漉隊 大場さんの説明をみんなで真剣に聞いています (写真上段→)
 一齐に紙を漉く様子 (写真中段↓)
 専用の掃除機で水分を吸います (写真下段↓)
 みんなの作品☆ (写真中央↓)



色付けには着物の染料を使用しています (↖写真上段)
 木枠から和紙をはがす工程には三角定規が大活躍 (↖写真中段)
 慎重にはがします (←写真下段)



こんにちは！ 協力隊の佐野です。

去る11月25日(木)に、『ひろさき市学^(*)』の一環として、2年生の「紙漉き体験」が行われました。

手漉きの和紙が作れる「紙漉の里」は、相馬の「紙漉沢」という地名が、古くは紙漉きをしていたという歴史があることから、およそ18年前に地元の有志で地域の魅力を掘り起こそう！と始めた施設です。りんご農家のお母さん達が運営をしておりますが、この日は協力隊もお手伝いに行っていました！

2年生の子ども達は、元氣よく挨拶をし、作り方を真剣に聞きながら、色とりどりの作品を仕上げていました。みんなとても頑張ったので、はがきサイズの大きさの和紙がたくさんできました♪そして、和紙に色付けをした際のエピソードなども話してくれて、とても楽しかったです。

数年後の中学校卒業時には、自分で漉いた和紙でできた卒業証書をもたらせるのですが、私のはごくごく普通のものだったので、相馬の子達が本当に羨ましいです！
 素晴らしい地域施設がある事に誇りを持って下さい☆

(※地域や弘前を題材とした学びを通して、郷土への愛着や誇りをもち、自分らしい生き方を実現していくこととする態度を育てる事を目的とした教育的取り組みのこと)

本年も、地域の皆様に大変お世話になりました事、感謝申し上げます。

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)

